

平成24年3月27日

『FFG調査月報4月号』発行について

経済調査誌『FFG調査月報4月号』を発行しましたのでお知らせ致します。
今月のメインレポートは、地域経済調査「BSI調査による景況感の変化」です。

なお、FFG調査月報は福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の営業店の窓口に配置しております。

【メインレポート】

地域経済調査

BSI調査による景況感の変化

福岡県、熊本県、長崎県の企業を対象に、FFGが2012年2月に実施した「企業動向調査アンケート」を基に、3県企業の景況感の他、昨年3月に全線開通した九州新幹線による企業業績への影響の有無やその主な内容に加え、東日本大震災による影響等について過去の調査と比較を行いながらレポート致します。

トップに聞く

FFG3行の頭取が、各行のお取引先を訪問する「トップに聞く」のコーナーです。
今月は、お取引先の3社を訪問し、代表者の皆様からお話を頂きました。

糸永 康平 氏 (信号電材株式会社 代表取締役社長)

当社は、信号機等の開発、製造を行われる信号関連機器の総合メーカーです。これまで、信号機の防錆や西日の差し込み対策等の難易度の高い開発ニーズに独自の技術で対応してこられ、現在はLED信号機の製造に注力されています。今後は、信号機に加えて、海外企業との合弁によるLED照明事業への参入も予定しております。

中村 光宏 氏 (株式会社肥後ポリエチレン 代表取締役)

当社は、ポリエチレンフィルム、ラミネートフィルム等の包装資材を製造される企業です。高いレベルの品質管理体制と、デザインの企画、印刷、製袋等の各種工程を当社単独で行える一貫体制により、短納期で様々なニーズに対応出来ることが当社の強みです。引き続き、生産性向上に努められるとともに、今後は九州全域での販売展開を強化される予定です。

山中 数浩 氏 (株式会社大光食品 代表取締役社長)

当社は、長崎県島原市の本社を中心に、鶏、豚の肥育生産管理から、食肉製造加工、販売等までをグループで行われる企業です。島原半島の恵まれた自然環境を活かし、「抗生剤を添加しない飼料」による飼育等に取り組んでこられた他、現在では、「島原工房」等の地域ブランドも展開される等、「より安心、より美味しい食品の提供」に注力しております。

FFGニュース

PPPの潮流を福岡から

福岡市は、昨年6月に『福岡PPP(※)プラットフォーム』を設立し、地域密着型の新しい公共事業手法の確立に向けた取り組みを進めておられます。今回は去る2月7日に開催された「福岡PPPプラットフォーム第5回セミナー」の概要ならびに地域密着型PPPにおける地場銀行の役割と展望等についてご紹介致します。

※ PPP：パブリック・プライベート・パートナーシップ。官民協業。

海外レポート

人民元国際化の歩み

中国の通貨である人民元は、同国が進めてきた規制緩和により、貿易等での活用が徐々に拡大される方向にあり、中国国外（オフショア）における人民元の流通が増大する等、その存在感を高めています。今回は、中国の国際金融センターとしての足場を固めてきた香港より、変化を続ける人民元を取り巻く状況について説明致します。

海外トピックス

中国のお茶事情

お茶の発祥地は中国と言われていますが、一括りに「お茶」と言ってもその種類は多く、中国では茶葉の発行度合いによって、緑茶、白茶、黄茶、青茶、紅茶、黒茶の6種類と花茶に分類されています。今回は、こうしたお茶の種類や産地（茶区）および歴史等も交えながら、中国のお茶事情について紹介致します。

《 本件に関するご照会先 》
株式会社 FFGビジネスコンサルティング
企画調査部 大野・田中
TEL 092 - 723 - 2576